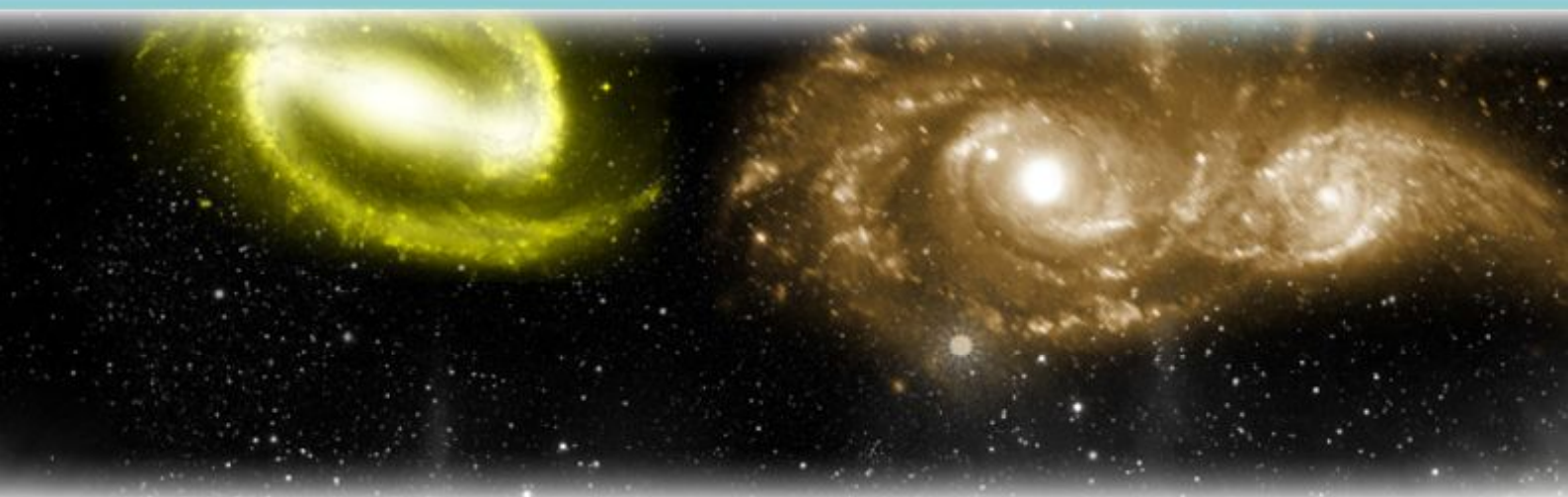




# マグマの法則

～爆発する穴馬の条件～



## ■ 著作権について

「マグマの法則」(以下、本冊子と表記)は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者(シベリアン)にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

## ■ 使用許諾契約書

本契約は、本冊子を購入した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

### 第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

### 第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

### 第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

### 第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

### 第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

## もくじ

はじめに	4
マグマ第1法則	10
(1) このローテーションの馬を狙え	10
(2) マグマ馬 爆発の実例	12
(3) 馬券の購入方法	30
マグマ第2法則	33
(1) このローテーションの馬を狙え	33
(2) マグマ馬 爆発の実例	35
(3) 馬券の購入方法	46
マグマ第3法則	52
(1) このローテーションの馬を狙え	52
(2) マグマ馬 爆発の実例	54
(3) 馬券の購入方法	69
マグマ第4法則	71
(1) このローテーションの馬を狙え	71
(2) マグマ馬 爆発の実例	73
(3) 馬券の購入方法	82
マグマ第5法則	85
(1) このローテーションの馬を狙え	85
(2) マグマ馬 爆発の実例	87
(3) 馬券の購入方法	96
マグマ第6法則	99
(1) このローテーションの馬を狙え	99
(2) マグマ馬 爆発の実例	101
(3) 馬券の購入方法	110
マグマ第7法則	113
(1) このローテーションの馬を狙え	113
(2) マグマ馬 爆発の実例	115
(3) 馬券の購入方法	124
第8章：巻末付録	126
おわりに	127



## はじめに

万馬券ばかりは、当たりません

～むしろ「堅実に増やしたい」貴方へ、実用性重視の『使える』バイブルを～

競馬の予想が、よく的中する。  
そして、一定の利益を得る。  
だから毎週末が、待ち遠しくなる…

易いようで易くないこの『永遠のテーマ』に、全国の競馬ファンが毎週末、取り組んでいます。

そして、多くの競馬ファンの方が結局、「やっぱり効果的な方法なんて無いよ」とおっしゃることでしょう。

あるいは「手間と時間をかければ、方法が見つかるのかもしれない。  
でも我々普通のファンの立場では、時間も限られているし難しい」と。

各レースでどのような馬に注視して、馬券をどう買えば、利益向上へと繋がられるのか？

しかも、できれば「競馬新聞だけで推察できる」やさしい方法で。

当バイブルは、そんなシンプルな疑問をお持ちの方にこそ実践してほしい、実用性重視の「買うべき馬・発見バイブル」です。

キャリアに全く関係なく、初心者～ベテランの方までお使いいただけます。

当バイブルの制作者である私自身、これまで毎週末「穴狙いでバットを大きく振り回していた」一人の穴党でした。

そして、結果も「たまに」ついてきました。

ここ数年のG1レースでも、有馬記念のアドマイヤモナーク、皐月賞のサンツェッペリン、ヴィクトリアマイルのコイウタ、菊花賞のスリーロールスなどを本命に抜擢しました。

最初から自慢となってしまうたら恐縮ですが、一応証明するために、有馬記念の的中画像をお見せします。

IPAT
IPAT 当日投票内容照会結果

投票メニュー
照会メニュー
受付番号照会

**受付番号:0005 受付時刻:15:03 受付ベット数:60**

**受付内容**

件数	場名	レース	式別	馬組	金額	的中
(1)	中山(日)	10R	3連単 フォーマーション	1着:08,10,13 2着:01,06,12,14 3着:01,05,06,07,12,14	各100円(計6,000円)	的中

購入金額 6,000円 払戻金額 985,580円

成績	血統他	前走	次走	上り	全コメ	結果コメ	予想コメ	馬コメ	0馬コメ	KOLコメ	K次メ	最新成	★1	★2	★3	★4	★5	★6	★7	★8	調教師	賞金	馬記号	
1	13	ダイワスカーレット	牝4	55	安藤勝己	2:31.5	46.4*	1-1-1-1	36.35	36.4	1	2.6	484	-4	(業)	松田国英	18000							
2	14	アドマイヤモナーク	牡7	57	川田将雅	2:31.8	1 3/4 50.5*	14-14-13-11	36.63	35.8	14	90.2	488	+6	(業)	松田博資	7200							
3	6	エアシェイディ	牡7	57	後藤浩輝	2:31.9	3/4 47.0*	8-8-5-7	36.47	36.4	10	36.1	496	+6	(美)	伊藤正徳	4500							
4	11	ドリームジャーニー	牡4	57	池添謙一	2:31.9	ハナ 50.0*	11-13-13-9	36.63	35.9	7	24.1	430	+10	(業)	池江泰寿	2700							
5	8	スクリーンヒーロー	牡4	57	デムーロ	2:32.0	クビ 46.5*	10-8-5-2	36.47	36.5	3	6.4	488	+2	(美)	鹿戸雄一	1800							
6	7	アルナスライン	牡4	57	ベリエ	2:32.2	1 47.4*	11-11-10-9	36.57	36.4	5	18.3	554	+14	(業)	松元茂樹								
7	1	カワカミプリンセス	牝5	55	横山典弘	2:32.5	2 44.3*	2-2-5-7	36.47	37.0	6	19.0	488	-10	(業)	西浦勝一								
8	9	メイショウサムソン	牡5	57	武豊	2:32.5	ハナ 42.5*	2-2-2-2	36.38	37.3	4	8.4	520	+4	(業)	高橋成忠								
9	5	フローテーション	牡3	55	ルメール	2:32.7	1 1/4 41.6	6-5-2-4	36.38	37.5	8	27.3	486	+2	(業)	橋口弘次								
10	2	ペンチャルイン	牡3	55	柴田善臣	2:32.7	クビ 45.7	8-8-12-11	36.60	36.8	13	80.0	500	0	(美)	小杉山悟								
11	3	コスモバルク	牡7	57	松岡正海	2:32.8	1/2 44.7	6-5-10-11	36.57	37.0	12	75.7	516	+2	[地]	田部和則								[地]
12	10	マツリダゴッホ	牡5	57	蛸名正義	2:33.1	1 3/4 42.2	11-11-5-4	36.51	37.5	2	4.4	498	+6	(美)	国枝栄								
13	4	エアジパング	セ5	57	藤田伸二	2:33.9	5 38.8	5-5-5-11	36.51	38.3	11	54.4	452	+8	(業)	藤原英昭								
14	12	アサクサキングス	牡4	57	四位洋文	2:34.3	2 1/2 35.0	4-4-2-4	36.38	39.1	9	29.5	488	0	(業)	大久保龍								

LAP	6.9-11.2-11.9-11.2-11.9-13.0-13.2-12.4-11.5-11.9-12.0-11.7-12.7	基準タイム	-.-.-.-	A-3F差	前後
平均	1F:12.12 / 3F:36.36 通過 30.0-41.2-53.1-66.1	上り	72.2-59.8-48.3-36.4	レースPCI	46.4
単勝	13 ¥280	ワイド	13-14 ¥7180 (49) / 08-13 ¥1380 (12) / 08-14 ¥28200 (8)	平均タイム	2:32.56
複勝	13 ¥130 / 14 ¥2280 / 6 ¥600	馬単	13-14 ¥33490 (75)	1-5着平均	2:31.82
特選	8-8 ¥18640 (29)	3連複	06-13-14 ¥192500 (220/364)	2-5着平均	2:31.90
馬連	13-14 ¥29490 (53)	3連単	13-14-06 ¥985580 (1052/2184)	25%平均	2:31.90
				レースPCI	前後
				PCI 3	47.97
					46.4

こんなふうに、たまにまぐれ当たりすると、競馬新聞を見ながらも、とにかく気になるのは「オッズ」。

とにかく毎週毎レースが大穴狙い。主力の馬券は馬単・3連単。

レース数も沢山買っていましたから、さすがに少しは的中しますが、その馬券をいま振り返ると、特に買った根拠も意味もない「薄っぺらな」ものでした。

しかも常に大穴狙いゆえに的中率は低いですから、なかなか資金が続きませんし、的中率が低いゆえに、途中で競馬をつまらなく感じてしまうことも。せつかくの趣味なのに、もはや本末転倒でした。

競馬新聞に目を向けるたびに『穴馬券を取るために、今週も何とかして穴馬を探し出さなければ…』と、半ば追い詰められた気持ちによくなっていた私でした。

がしかし、血統やラップなどの専門的な知識を持たなくてもしっかりとした根拠に基づいた「そのレースで買うべき馬」を見つけられる、たしかな法則は本当に存在しないのか？

かつ、無理に大きくバットを振り回さなくても、一定の利益を高い確率で確保できる方法はないのか？

理想は、的中率をできるだけ高めつつ、回収率を100%以上に持っていき、大ホームランでなくても、ヒットや2塁打の積み重ねのような手法。

そんな疑問を抱くようになった私は、同時に「心の奥底にずっと眠っている『あるアイデア』は、果たして本当に使えないのか？」と思うようにもなったのです。

そこで一発念起して、過去の事例にさかのぼり、その「あるアイデア」について、徹底的に調べてみることにしました。

『長期に渡り回収率100%以上・的中率も30%ほどで安定している』条件を満たすために、ありとあらゆるさまざまな条件を膨大なデータから抽出・検証を繰り返しました。

その期間は実に2年。  
もちろん馬券もたくさん買いました。  
全ては、当バイブルの完成度をより高めるために。

その結果、競馬新聞に載っている情報の中の、これからお伝えする7つのファクターに該当する馬を「自動的に買い続ける」ことによって、堅い馬券から穴馬券までの軸となってくれる馬に幅広く「目が届くようになる方法論」を突き止める事に成功したのです。

「心の中にいたアイデア」は、きちんと形になってくれました。

「なんだ、そんな選び方か。それなら何となく分かっていたよ」と、思われる方もおられるかもしれませんが。

それもそのはずです。このバイブルのスタート地点は「昔から伝えられていた、競馬の格言」などの再検証。

しかし、その「何となく伝えられていた」競馬の格言だからこそ、皆さんも「何となく」理解していた方が多いはず。

それをここまで突き詰めたバイブルとなると、ほとんど存在しないでしょう。

それこそが私の「心の中にいたアイデア」だったので。

この2年間(2008年11月15日～2010年11月7日)の、当バイブルから導きだされる「軸馬」は、全部で554頭です。

その554頭の戦績は、以下のようになりました。

全件数	1着	2着	3着	4着以下	単勝率	連対率	複勝率	単回収率	複回収率
554	132	92	75	255	24%	43%	57%	141%	124%

競馬をある程度ご存知の方ならば、マニュアル本文をお読みいただくと、上記の「554頭の戦績」が、とても「現実的」であることを、ご理解いただけけるかと思います。

魔法のような的中率と回収率ではありませんし、万馬券ばかり当たるわけではありません。

しかし「素直にヒット狙い」の積み重ねによって、収支を少しずつ確実に高めていける可能性は大いに秘めた、現実的かつ魅力的なアベレージかと思います。

『確かな実績があるにもかかわらず、近走成績で過小評価されている馬』を



どれだけ見過ごさずに、きっちり注目できるか。  
当バイブルは、その「道しるべとしての存在」を意識したものです。

過小評価されているから人気がない。だから買いたい存在の馬になる。

そんな「買いたい存在の馬」を簡単に抽出できる7つのファクターを、事例を中心に徹底紹介しています。

全国の競馬ファン全ての方が、毎週、競馬場において「馬の肌ツヤや呼吸音までパドックでチェックしてから、馬券を買う」ことができる環境下にいらっしゃるわけではありません。

あくまでも「馬券は競馬新聞をもとにして、買いたい馬を探して、馬券を買う」方が大半でしょう。

あとは少しテレビでパドックを見る程度…そんな方こそが手軽に使えるバイブルとしても、意識しました。

他の方のことを言っては失礼ですが、的中率 80%、回収率 300%などという一見ものすごい数字を掲げている馬券術は、短期的に見れば可能ですが、2年以上の統計をとったら、どんな優秀な馬券術でもまず回収率は 120%前後に落ち着きます。そして、ひどい時には 70%まで下がってしまうものなのです。

この馬券術については、そんな心配はありません。

また、軸馬から推奨する流し馬券の条件(このマニュアルの第2のキモです！)についても詳しく説明させていただきます。

推奨馬券の券種別の成績はこのようになっております。



ワイド的中率	ワイド回収率	ワイド平均買点数
47.3%	128%	4

馬連的中率	馬連回収率	馬連平均買点数
30.4%	151%	4

3連複的中率	3連複回収率	3連複平均買点数
30.6%	157%	9

検証は十二分に行いましたが、もちろん「これさえあれば毎週確実に勝てる」といった仰々しいバイブルではありません。

そんなバイブルがありましたら、ぜひ教えて頂きたいくらいです(笑)

しかし、このマニュアルをお手元に備えて頂き、毎週末毎に活用していただければ、続ければ続けるほど、そこには「オッズに束縛されない、理にかなった穴馬さがし」の世界が広がります。

オッズに振り回されるだけの薄っぺらな馬券とは、さようなら。

「しっかりとした根拠があつての穴馬狙い」は、的中率・回収率向上の実感とともに、貴方の競馬ライフ自体をも、きっと楽しくしてくれるはずです。

再度申し上げますが、当バイブルは「魔法のバイブル」ではありません。

貴方の馬券のスキルと戦績も、この馬券術と一緒にぜひ向上されて、オリジナルの馬券術も編み出される事も期待しております。

では早速、詳細にご紹介していきましょう。

## マグマ第1法則

### (1) このローテーションの馬を狙え

#### 「●●●→●●●の馬を狙い撃て」

競走馬というものは、レース漬けで相当なストレスにさらされていると言います。

こういう馬たちに●●●●で●●●●●●●●を使ってあげて、次走●●●●●●●●に戻すと激走することが多々あるのです。ただやみくもに●●●●●●●●のローテーションを組んだ馬を買っても、もちろんマイナスになってしまいます。

こういった馬たちをさらに細かく分析し、的中率と回収率を極限にまで高めた条件がこちらになります。



上記の条件を2年間(2008年11月15日～2010年11月7日)集計すると、

該当数 140 頭

内訳(22-21-12-85) ※(1着-2着-3着-4着以下)の数字です。

単勝率 16% 連対率 31% 複勝率 39%

単勝回収率 144% 複勝回収率 120%

となります。

ちなみに、同じ条件で●●●●●●●●を集計してみると、

該当数 30 頭

内訳(1-2-3-24) ※(1着-2着-3着-4着以下)の数字です。

単勝率 3% 連対率 10% 複勝率 20%

単勝回収率 16% 複勝回収率 84%

となり、●●●●●●●●●●●●●●●●は手を出さない方がいいです。

これは競馬新聞があればすぐにわかります。当日のオッズ(なるべくレース近くのオッズを推奨します)を調べれば、これだけの穴馬が見つかるのです。

実際に競馬新聞での探し方をご説明しましょう。

さ



## 最後に

2011年の重賞無料予想をご希望の方は、  
こちらのアドレスに[空メール](mailto:j+1115@accessmail.jp)をください。

[j+1115@accessmail.jp](mailto:j+1115@accessmail.jp)

レース当日に「笑う穴馬」の大穴勝負予想をお伝えします。お楽しみに。

### 【レース予想例】

#### 有馬記念

#### 波乱含み

さあ、困った…というのが、正直なところ。メンバー的に超スローは必至。となると、波乱を期待するには人気サイドが外を引くことが不可欠ですが、あらあら、ブエナビスタは7番。テンでズブさを出す馬だけに、昨年以上の好枠といってもいいかもしれません。ただ、どうしても気になるのは、牡馬混合GIをぶっちぎりで連勝してきた点。エアグルーヴ、4歳以降のヒシアマゾン、ウオッカが沈んだのはこの舞台であることは覚えておきたいところ。しょせんは消長の激しい牝馬だけに、やはり疲労・消耗は大きな懸念材料です。何より、ここは上がり3F 33秒台を必要としない設定です。完成されたディーブインパクトには跳ぶことができて、この秋、スミヨンによって「切れ者」に戻された女傑が、急坂で弾けられるのかどうか。絶対視は禁物です。

さて、今年の有馬記念の特徴は、この中間で大きな上積み期待できる馬が多い点。そして、その最右翼が◎●●●●です。

もちろん、一頓挫明けの前回と馬が違うことは最大の強調材料。大跳びのフットワークで併走馬を瞬時に抜き去った1週前と今週の動きなら、多少の不利を受けたくらいで、ジャパンCのような不甲斐ない止まり方はしないはず。枠順はギリギリ許容範囲の●番。ここならインで下手に脚をためるより、テンから押して先行策を選ぶでしょう。あまりにデキが良すぎて掛かる恐れあり？それならそれで今年の展開なら功を奏す可能性大。実はパワータイプの●●●●●に自信の一票です。

相手は内から順に買える馬を探せば、必然的にブエナビスタ。ただ、上記したように嫌な予感はブンブンですので、買い方としては攻めのワイド馬券がベスト。

そして、枠順のまずさは承知の上で、馬連は◎以上に急上昇を告げる●●●●で攻める手です。あえて初コースのここで評価を上げたのは、軽い質のレースになりやすい東京だと、この馬の瞬発力で勝ち負けするには展開に注文がつくから。実際、過去の戦歴で勝ち負けした際の最速は34秒1。たとえ道中がスローになるとはいえ、3角過ぎからまくり合戦が予想されるここは33秒台の脚は必要ないでしょう。何より心強いのは■■■■の手綱です。■■■■に前で競馬を覚えさせたのも彼の手綱。何でも水曜、「これまで一緒に走ってきて、このペースであの位置取りでいいの?」思っていたんだ」とコメントしたとか。恐らく、復活を遂げた名手のイメージは2005年のハーツクライのような乗り方でしょう。ゲートそのものはすんなり出るだけに、ここはこの馬にとってひとつのターニングポイントとなる可能性が十分あります。何はともあれ、今週の坂路800M51秒台のド迫力は買いです。

このほかで目を引くなら●●●●。理由はまずこの絶好枠です。コース代わり、展開、鞍上も大きな強調材料。まともなら文句なしの大本命です。ただ、頑張り過ぎたジャパンCがとにかく残念。あと■■■■産駒の転落の季節はそろそろという懸念も。来たら■■■■マジックということです。

シベリアン